

令和5年度「特定保健指導実践者育成研修会」の開催について

本研修会は、特定保健指導の計画策定、実施から評価までを行う実務者を対象とし、厚労省から示された研修ガイドラインに準拠する「国で定める一定の研修」として基礎編と位置づけて実施します。

【開催日程】

講義【オンデマンド配信】

配信期間：7月 3日（月）10時 ～ 7月19日（水）17時まで

演習

【東京会場】7月 31日（月）（受付開始13：00 開催13：30～17：00）

【大阪会場】8月 2日（水）（受付開始13：00 開催13：30～17：00）

【演習会場】

【東京会場】ミーティングスペース AP 市ヶ谷

〒102-0076 東京都千代田区五番町1-10 市ヶ谷大郷ビル8階

TEL:03-3511-3109

【大阪会場】ミーティングスペース AP 大阪茶屋町

〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART 梅田ビル8階

TEL:06-6374-1109

【研修内容】 詳細はプログラムをご参照ください。

【対象者】

以下の事項を満たす方

- ① 健保組合もしくは健保組合に加入する事業所に所属する保健師・管理栄養士・看護師
- ② 「特定保健指導の実践者*」であること

*「特定保健指導の実践者」については、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3.2版）」p.32「実施者」欄をご参照ください。

※「ガイドラインに基づく研修は5年ごとに受講することが望ましい」とされているため、毎年受講する必要はありません。過去に受講していても申し込みは可能ですが、定員を超える申し込みがあった際にはお断りさせていただく場合があります。

【申込受付期間】 令和5年5月9日(火)～5月22日(月)

【申込方法】

- ① 健保連イントラネット「各種研修会申込み」を開く。
- ② 「令和5年度 特定保健指導実践者育成研修会」をクリックする。(詳細情報が表示されます。)
- ③ 「6. 申込方法」の『健保連イントラネットにて受付』をクリックし、入力フォームに必要事項を入力する。**(必須事項は、もれなく正確に入力してください。記入のない場合は、照会のご連絡をさせていただく場合がございます。)**

【関連書類】 下記の添付書類をご確認ください。

- ・ 開催要領
- ・ プログラム

担当：組合サポート部 保健事業グループ

TEL：03-3403-0947

令和5年度「特定保健指導実践者育成研修会」 開催要領

1. 目的

本研修会は、厚生労働省から示された「研修ガイドライン」（改定版）に準拠し、特定保健指導を実施するための一定の研修と位置づけられるものです。特定保健指導の計画策定～実施～評価までを行う実務者を対象とし、特定保健指導事業を実施する専門職として必要な一連の概念と知識・技術を修得することを目的とします。

2. 開催期日

講義【オンデマンド配信】

配信期間：7月 3日（月）10時 ～ 7月19日（水）17時まで

演習

【東京会場】7月 31日（月）（受付開始13：00 開催13：30～17：00）

【大阪会場】8月 2日（水）（受付開始13：00 開催13：30～17：00）

3. 演習会場

【東京会場】ミーティングスペース AP 市ヶ谷

〒102-0076 東京都千代田区五番町1-10 市ヶ谷大郷ビル8階

TEL:03-3511-3109

【大阪会場】ミーティングスペース AP 大阪茶屋町

〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART 梅田ビル8階

TEL:06-6374-1109

4. 研修内容

本研修会の講義は、YouTubeによるオンデマンド配信（配信される録画動画を受講者の都合で視聴するスタイル）にて実施します。動画視聴後、「講義チェックシート」を提出頂きます。

演習は、講師との対面で東京と大阪で実施します。ご都合のよい会場を選択頂きます。研修プログラムは、別紙をご参照ください。

5. 対象者

以下の事項を満たす方を対象とします。

- ・健保組合もしくは健保組合に加入する事業所に所属する保健師・管理栄養士・看護師
- ・「特定保健指導の実践者(*)」であること

※ 「特定保健指導の実践者」については、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3.2版）」p.32「実施者」欄をご参照ください。

6. 定員

講義、約 100 名。演習、各会場、約 50 名。

7. 参加費

22,000円(税込) ※ テキスト代含む。請求書は発行いたしません。

8. 申込から受講・修了証受領までの流れ

- ① **イントラネット「研修会案内」より参加申込み ※1**
【東京会場】、【大阪会場】の選択
↓
- ② 参加決定通知、参加費振込先のご案内（メール）が届く
↓
- ③ 健保組合宛に研修会テキストが届く
↓
- ④ 参加決定通知を送付したメールアドレス宛に
講義動画 URL のご案内、および「講義チェックシート」が届く
↓
- ⑤ **講義動画視聴後、「講義チェックシート」を提出 ※2**
↓
- ⑤ 演習会場へ出席
↓
- ⑥ 演習受講後、「受講後アンケート」を記入
↓
- ⑦ 修了証を受領（修正がある場合は、後日送付にて受領）

※1 ・健保組合所属の方は、健保連イントラネット（「各種研修会申込み」コーナー）からお申込みください。事業所所属の方は、加入の健保組合を通して、健保連イントラネット（同上）からお申込みください。

【 申込記載事項の記入について 】

- ・記入項目は、すべて必須です。
- ・「氏名」、「生年月日」は、国で定めるところによる修了証に掲載します。
受講手続きの遅れの原因となりますので、漏れなく正確にご記入ください。
- ・メールアドレスは、受講者のもので、ファイル添付が可能なアドレスをご記入ください。

※2 7月20日（木）までにEメールにて提出

提出先 E-mail: hokenshidou@kenporen.or.jp

●申込みが定員を超えた場合の参加決定について

- ・以下の3段階で参加決定させていただきます。

- ① 平成27～令和4年度に健保連が開催した「特定保健指導実践者育成研修会」を受講さ

れていない専門職を優先する。(研修ガイドラインでは、「国で定める一定の研修」は「5年ごとに受けることが望ましい」とされているため、毎年受講する必要はありません。)

- ②各健保組合（本部・支部及び加入事業所をひとつの健保組合として）からの参加を1～2名までとする。
- ③健保組合所属の保健師・管理栄養士・看護師を優先する。

●修了証について

- ・全過程修了者へ修了証を発行します。ただし、「講義チェックシート」が未提出の場合、演習開催日に欠席の場合は、いかなる理由があっても修了証は発行できません。
- ・高齢者の医療の確保に関する法律第18条第1項、厚生労働省告示、及び国で定める研修ガイドラインに基づき「保健指導実施者は、(中略)一定の研修を修了していることが望ましい。」とされているため、本研修会の「修了証」がなくても、常勤の医師・保健師・管理栄養士は特定保健指導事業の統括者と実施者になることは可能です。また一定の実務経験を有する看護師は、特定保健指導事業の統括者にはなれませんが、令和5年度まで特定保健指導を実施することは可能です。
- ・本研修会は、厚生労働省告示で定められる特定保健指導にかかる「食生活改善指導担当者研修」、「運動指導担当者研修」ではありませんので、本研修会の修了証をもって、食生活・運動の専門的知識及び技術を有すると認められる者にはなりません。これらの各研修は健保連ではなく、健康・体力づくり財団等にて開催されますので、必要な方は別途各開催機関へお問い合わせください。

●本研修会の著作権について

本研修会における動画、講義テキスト内容は、すべて主催者と講師のもので、講師の人権や著作権を守るためにも許可のない動画の録画、録音、撮影、およびテキストの転用、掲載、撮影、二次配布等を固くお断り致します。また、これらに反する行為が明らかになった場合は、法的手段を用いて調査することがありますので、同意の上、申込をお願い致します。

●個人情報の取扱いについて

- ・参加申込の際にいただいた情報については、健保連本部が責任をもって管理し、本研修会を的確に開催・運営するために使用します。また、健保連本部の事業に関して機密保持契約している場合に限り、第三者に開示する場合があります（下請業者、技術支援業者、運送業者、金融機関等）。

担当：健康保険組合連合会
組合サポート部 保健事業グループ
TEL:03-3403-0947

E-mail: hokenshidou@kenporen.or.jp

特定保健指導実践者育成研修会 プログラム

講義

令和5年7月3日（月）～7月19日（水）

【YouTube オンデマンド配信】

| | | |
|---------------|--------------------------------|---------------------------------------------------|
| 概論 (40分) | 特定健診・特定保健指導制度を巡る動向 | 厚生労働省保険局医療介護連携政策課 課長 水谷 忠由 氏 |
| 総論 (60分) | メタボリックシンドロームの概念と 特定健康診査について | 新潟県労働衛生医学協会 新潟大学大学院生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授 加藤 公則 氏 |
| 各論 1 (30分) | 「アウトカム評価を主軸とした保健指導」 | 新潟県労働衛生医学協会 新潟大学大学院生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授 加藤 公則 氏 |
| 各論 2 (45分) | 「効果的な食生活支援のポイント」 | 女子栄養大学栄養学部 食生態学研究室 准教授 林 芙美 氏 |
| 各論 3 (45分) | 「運動・身体活動指導のポイント」 | 筑波大学体育系 准教授 中田 由夫 氏 |
| 各論 4 (45分) | 「禁煙指導のポイント」 | 公益社団法人 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター センター長 中村 正和 氏 |
| 各論 5 (45分) | 「適正飲酒・減酒を促す指導のポイント」 | 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 瀧村 剛 氏 |

演習

東京会場

大阪会場

令和5年7月31日（月）

令和5年8月2日（水）

| | |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 13:30 ～ 14:20 (50分) | 【講義】 「特定保健指導の基礎知識」 特定非営利活動法人 健康経営研究会 理事長 岡田 邦夫 氏 |
| 10分 | 休憩 |
| 14:30 ～ 15:20 (50分) | 【演習1】 「事例から学ぶ特定保健指導の実際」 特定非営利活動法人 健康経営研究会 理事長 岡田 邦夫 氏 |
| 10分 | 休憩 |
| 15:30 ～ 16:30 (60分) | 【演習2】 「ロールプレイから学ぶ特定保健指導の実際」 特定非営利活動法人 健康経営研究会 理事長 岡田 邦夫 氏 |

修了証交付